

# 大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局  
大阪市中央区道修町3-3-10  
大阪屋道修町ビル3F  
06-6232-1095

シンポジウム『損保と共済の社会的役割』第二弾 !!

—世界金融危機と新たな損保再編進行—

## 新たな大型統合は何をもたらすか、契約者・ 代理店・従業員を大切に作る産業をめざそう

『三井住友』『あいおい』『ニッセイ同和』統合に続いて、このほど『損保ジャパン』『日本興亜』統合構想が明らかになりました。これによって損保業界は大手三社が90パーセント近いシェアを有する他産業に例を見ない寡占産業になります。

2001年から大型合併・再編が進みました。その結果、収入規模拡大・利益第一主義の競争が繰り広げられ、保険料取りすぎ・保険金不払い問題など深刻な問題を引き起こしました。営業店舗や正規従業員の大幅な削減政策が実行され、雇用の多様化も進められました。さらに代理店の大幅削減と代理店手数料の引き下げや外勤社員の制度と雇用に対する攻撃も強まりました。

この間、本来来加入者の相互扶助組織である各種共済を保険業法の管理に入れる共済つぶし攻撃も強まりました。

このような情勢の中で私たちは昨年4月、初めて損保の募集制度と共済問題をドッキングしたシンポジウム『国民生活に軸足を置いた損保代理店・外勤社員そして共済の社会的役割を考える』を開催しました。

品川正治氏特別講演、大阪損保革新懇松浦世話人基調報告の後、損保現役社員・外勤社員・専業代理店・共済・生協関係者など6人のパネラーが報告しました。

福岡・浜松など遠来の参加者を含め180名を越え、成功しました。

その後、シンポジウム報告集を職場に配布する活動も展開、保険毎日新聞も取り上げたこともあって業界内外に話題を呼びました。

昨年夏以降、世界金融危機・恐慌が発生し、日本の保険制度をぶち壊した元凶の一人AIGの破綻が明らかになりました。このような時期に新たな大型統合構想が明らかになりました。私たちは新たな情勢が展開する中で緊急に再び、「国民生活に軸足を置いた損保

産業と共済制度の実現をめざす」ため昨年を引き続き、シンポジウムを開催することになりました。

昨年を上回る多くの参加での成功をめざします。

ぜひ、まわり仲間・代理店・共済団体・加入者などにも声をかけていただき、ご参加くださるようお願いいたします。

**日時** 2009年5月19日(火)  
午後6時半開会～8時半

**会場** 大阪府商工会館7階大会議室  
(地下鉄「本町」駅17番出口)

**参加協力費 1000円**

**特別講演**

『世界金融危機と新たな再編情勢のもと、あらためて損保と共済の社会的役割を考える』

青山学院大学経済学研究科教授

**本間照光氏**

社会保障論、経済学、保険論、  
社会政策、社会保険論

小樽商科大学商学部経済学科卒業  
共栄火災に10年間勤務

**報告討論** 損保営業社員・損保業務社員・  
外勤社員・代理店・共済関係者など

☆シンポジウム終了後、近くの居酒屋  
「木温(こはる)」で交流会を開催

**映像で見る「イラク情勢講演会」開催**

**講師** イラクの子どもを救う会 **西谷 文和さん**

4月9日(木) アイクルの部屋で、「イラクの子どもを救う会」の西谷文和さんを講師に『最新映像で見るイラク情勢』の講演会を開催、部屋満杯の45名が参加しました。

2004年5月に西谷さんを招いて初めて講演会を開催してから今回で4回目となります。

西谷さんは、2月17日に日本を出発しアラブ首長国連邦のドバイに入られ、その後戦火激しいイラクを訪問、命がけで取材されました。今回は募金で多くの扇風機を寄贈されました。

自衛隊の基地があるサマワに向かったものの特別の許可がいるとのことで入れず、イラクを北上しながら3月5日にバクダッドに入られました。その間撮影された最新の映像をもとに生々しい実情を解説しながら講演されました。

西谷さんは、今日9日はフセイン像が倒される模様が全世界に報道された日と報告。最初の映像では、日本のジャーナリスト橋田、小川さんが殺害された場所を訪問し慰霊した模様が紹介されました。その後、車中から、米軍が作ったテロリストを防ぐためのコンクリート壁が延々と続く場所を撮影。そして空には住民を監視する米軍の無人飛行船が浮かんでいます。米軍の戦車が道路を走ると、走行中の地域は携帯電話を使った爆弾で戦車が爆破される恐れがあるため携帯の電波は切れるとのことです。

## 多大な犠牲と環境破壊・6年目のイラク

いよいよバクダッド市内。フセイン像があった広場は憩いの場所ではなくなり、市民の集会などに使われないために今は立入禁止にされています。様々な場所が空爆されているなか何故か石油省だけは残しておりアメリカの目的は明らかです。難民が住む、ゴミ処理場地域も訪問。すごい匂いで1時間もいたら鼻が曲がりそうになる不衛生の地域です。水道は泥水のためろ過器を使用、電気はきていないため電線から盗電しているらしい。

バクダッドの子ども病院も訪問しましたが、入院患者の多くが白血病とのことです。映像では、指がくっついている子ども、口唇口蓋裂の子ども、歯茎だけで歯が生えてこない子ども、背中に癌腫瘍ができている子どもなどが映し出されます。診療所の所長は「戦争で原因不明の子どもの患者が2倍となった。おそらく劣化ウランではないか。いずれアメリカに補償させたい」と強い口調で話します。

撮影は外では危険なので室内での撮影が多いとのことです。靴屋に訪問した際、イラクの記者がブッシュに投げた同じ靴がよく売れているらしく、西谷さんもその靴を買われ当日も履いて来られました。

その後、自ら作成した、DVD「ジャーハダ。イラ

ク民衆の闘い」の映像を紹介されました。(ジャーハダとはアラビア語で「闘い」「ファイト」の意味)。さらに、ブッシュが9・11テロはイラクが仕掛けたというのは大ウソだった。目的の一つはもうけのための戦争民営化。戦争はウソやでっち上げ事件ではじまる場合が多い。情報操作におどらせないことが大事ですと強調。日本では最近イラクの報道はほとんどされませんが、西谷さんはテレビ朝日の「ムーブ」という番組で「アメリカの劣化ウランはけしからん」と堂々としてしゃべったとのこと。また、毎日新聞の大阪版には何度も掲載されています(4月9日付と4月16日に今回のイラク訪問記事が掲載)。

西谷さんは最後に、イラク戦争は今年で6年目を迎えますがいったいこの戦争はなんだったのか?多大な人命の犠牲と浪費、そして甚大な環境破壊だけではないか。日本は視聴者側に選択権がないので、真実の報道をきっちりつかむことが必要。今こそ平和を守り、生活を守ることの重要性を考えようとして強調されました。

講演のあと、手作り料理で西谷さんを囲んで懇談しました。西谷さんの生き方、ご家族の支えで奮闘されていることに参加者一同感動しました。また、会場での「イラク子どもを救う会」カンパに40,060円が寄せられ、西谷さんにお渡ししました。



\*\*\*\*\*

## 100号記念クイズ結果

大阪損保革新懇ニュース100号記念号でクロスワードクイズとスケルトンクイズの二つの出題に多くの応募ありがとうございました。Q1の解答は「革新懇の出番(カクシンコンノデバン)」、Q2は「革新躍進」でした。事務局におい抽選の結果、当選者各々5名様に図書カード(500円)を送らせていただきました。

\*\*\*\*\*